



泥だらけの室内（阿仁前田）



国道105号線にかかる荒瀬新橋



阿仁吉田地内。この付近で車に乗った女性が増水した川に流されました



決壊した小阿仁川堤防（東根田付近）

被災力所のようす（18日）



氾らんのあとに残された泥とがれき、流木など（阿仁前田）



路肩が崩れた大淵付近の市道



冠水した李岱交差点



▶避難先で不安な一夜を過ごす市民（中央公民館）

大雨で甚大な被害

2007.9.17集中豪雨 各地区で家屋浸水、土砂崩れなど

阿仁川・米代川などが増水

前田駅前では2階への浸水も

県では災害救助法を適用

台風12号から変わった低気圧や前線の影響により、9月16日から17日にかけて東北地方に大雨が降り、本市でも17日未明から24時間で降った雨は観測史上最大を記録、阿仁川や米代川流域で河川が氾らんし、浸水や土砂災害、農業災害などの甚大な被害が広がりました。

■17日、災害対策本部を設置

本市では、17日正午頃、合川地区李岱の羽根山沢川がはんらんし、市道が冠水したため交通が分断され羽立集落が孤立しました。さらに阿仁川や小阿仁川、綴子川など各河川が増水、秋田地方気象台による土砂災害警報などを受け、午後5時50分には災害対策本部、本部長「岸部市長」を設置しました。

また、この豪雨で奥森吉の森吉ダム（太平洋湖）の貯水量が限界に達したことから、貯水量調整のため小又川への放流を実施しなければならなくなりま

した。このため、小又川及び合流する阿仁川で洪水が予想されることから、流域の森吉地区1812世帯5277人、合川地区1455世帯4305人、合わせて3267世帯9

682人に避難勧告を行いました。

放流を開始したのは午後6時30分。増水した河川に放流の影響が加わり、小又川と阿仁川の合流地点に位置する前田地区では、河川が急激に増水し、集落内の道路が冠水したほか、駅前を中心に床上浸水する家屋が相次ぎ、一部では2階にまで浸水が達する家屋もありました。

■全市で4千6百世帯、1万3千人に避難勧告・指示

また、鷹巣地区でも米代川が警戒水位を越えたことから、午後9時10分、米代川に隣接する舟見町、幸町、伊勢町、あけぼの町などの1299世帯3388人に避難勧告が出され、さらに蟹沢（33世帯、96人）、南鷹巣

地区の一部「舟場地」100世帯300人、前山駅周辺4世帯、10人）が対象に加わりました。

避難所となった阿仁前田のクウインス森吉、四季美術館ほか森吉、合川地区の各地区集会所、鷹巣地区の中央公民館、交流センターなどでは、大勢の市民が避難し、不安な夜を過ごしました。

阿仁川流域ではその後水位が下がったものの、鷹巣地区では、米代川がさらに水位を増したため、18日午前2時50分に勧告をより拘束力の強い指示に切り替え、広報車などで周知を図りました。

避難勧告が解除されたのは森吉地区が午前5時43分、合川地区が5時50分。鷹巣地区の避難指示は、午前11時20分に解除されました。

■被害甚大 床上浸水251棟・床下浸水129棟など

最も被害が大きかった前田駅前地区では水の引いた後、道路や家の中が泥まみれで手がつけられない状況。家人らは、放心状態から気を取り直して後始末に取りかかっていました。市では、断水している合川、

前田地区などへの給水を行つたほか、道路や河川、農地、家屋などに大きな被害が出ていることから、復旧に全力を注いでいます。

また県では、市に対し災害救助法の適用を決め、県と国による避難所の設置や食糧の供給、寝具等の生活必需品の支給貸与が行われています。

なお9月17日、阿仁吉田地内の阿仁川大岱橋付近で増水した川に女性が行方不明となり、捜索中（9月24日現在）。対策本部がまとめた9月24日現在の主な被害状況は次の通りです。

単位：建物＝棟、農地＝ha

区分 地区	住宅被害		非住家被害	農地冠水	道路等
	床上浸水	床下浸水			
鷹巣地区	7	8	19	597	河川14力所 地すべり1力所 市道60力所
合川地区	85	63	169	1200	
森吉地区	157	43	82	298	
阿仁地区	2	15	12	30	
計	251	129	282	2125	

その他、阿仁地区ではほだ木3万本流出など